



白梅
(玄関)

つながり

自ら動き、感じ、楽しむ ~笑顔あふれる幼稚園~
~やさしく かしく たくましく~

第 10 号
令和5年2月22日発行
山口大学教育学部附属幼稚園

次のステップへ

副園長 大森 洋子

節分が過ぎ、一気に暖かくなったように感じましたが、また寒さの逆戻り。三寒四温のこの頃ですが、確実に春の足音は聞こえてきています。玄関の梅も満開となりました。

この時期になると、毎年、寸暇を惜しんで遊ぶ子どもたちの姿が見られます。飼育の引継ぎをしたり、製作で集まったりと、することも多いのですが、合間の時間を上手に使いながら余すことなく遊んでいます。気持ちを切り替えたり、友達を誘ったり、やりたいことにすぐに取り組んだりすることがとても上手になったのだと思います。大きくなりましたね。この時期は、子どもにとっても、保護者の皆様にとっても、私たち保育者にとっても、「成長を実感できる」うれしい時期です。今年度もあとわずかなりりましたが、気持ちよく終わりが迎えるよう職員一同頑張ります。



保護者手作りの布おもちゃを使って

登園時の子どもたちの挨拶がとっても上手になりました。恥ずかしがっていた子どもたちも堂々と登園し、自信をもって挨拶をするようになっていました。一年かけての成果だと思います。「保護者アンケート」の結果でもお伝えしましたが、重点目標である「明るいあいさつ・やさしいことば・話を聞く・時間を守る」がずいぶん浸透してきたように思います。きっと保護者の方が心がけて、進んで挨拶したり、時間を守ろうとしたりしてくださっているからでしょう。とてもうれしいことです。小さい子どもを連れて時間通りに来るのは簡単なことではないとは思いますが、9時までの登園時間を意識して下さっていることに感謝いたします。みんなのそういう気持ちが積み重なることで、良い幼稚園になるのだと思っています。引き続きよろしくお願いたします。



花組：大庭で風揚げ。たくさん走りました



遊具の再開を喜んでいます



かくれんぼ「もういいかい」



風組：大作が完成。「みんなの大事な物」になっていて、誰も壊さないところが素敵だなと思います。



頭を寄せ合って、よくさら粉作りをしています。男児もまとまってよく遊んでいます。



飼育のひきつぎ：星組さんは「こうやって…」と優しく教えてくれ、風組さんは真剣に聞いて頑張っています。



給食体験〔星組〕

回数を重ねるごとに、準備も食べ方も片付けも上手になってきています。小学校での「給食」は毎日のことなので、そこに不安を感じると学校生活のハードルも上がります。入学したときに、知っている先生がいたり、見たことのある食器だったり、食べたことのあるメニューだったりすると、きっと安心することもあるでしょう。

少しでも食べられたことが自信になったり、食べてみようとする気持ちが生まれたり、入学が楽しみになったりするといいなと思います。

最後の農場(星組・2/14) と 初めての農場(風組・2/17)

星組最後の農場は、とても寒い日でした。早めに切り上げて、園に帰ってお弁当を食べました。「お帰り。楽しかった?」「寒かったですよね?」と声をかけると、「寒かったけど、楽しかった」という絶妙な答えが返ってきました。これまで7回、農場に行き、「いろいろなことを楽しんできた星組さんならではの言葉だと思いました。お世話になった野菜レンジャーさんに「今までありがとう」と伝え、歌のプレゼントをしました。



風組の初めての農場は、初めてにふさわしい暖かい日でした。ヤマミイバスも、農場という場所も、野菜レンジャーさんや牛との出会いも新鮮で、うれしいできごとでした。野菜レンジャーさんの説明を真剣に聞いて、一生懸命ジャガイモを植えていました。あまり牛を怖がらず果敢に餌をあげている姿や、山を元気に登る姿にはたくましさを感じました。「また農場にきたい!」という気持ちでいっぱいになって、楽しい気持ちで年長を迎えられます。



まとめと反省と次年度へ向けて

第11回目となる「幼小中合同会議」(2/15)では、今年度で研究が一区切りとなるため、次年度以降の研究の方向について話し合いました。

「同じ研究主題で一緒にやっぺいこう」という気持ちは、幼小中どの教員も皆同じで、「今年ここまでできたから次はこういうのはどうだろう」などと和気あいあいと話し合う姿はとても素敵でした。

言葉で言うのは簡単だけれど、正に「幼小中の教員が同じ方向を向いている」と感じ、次年度以降が楽しみになりました。課題もたくさんありますが、幼小中の教職員で一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思います。



2月16日(木)には、第4回「やまぐち学園学校運営協議会」が開かれました。こちらもまた、地域・保護者・学校園が一緒になって、「やまぐち学園」をよくしていこう、「よりよい未来を共に創り出す人間」をめざすためには学園はどうあればよいのだろうと、一生懸命知恵を出し合い、協力して進める会でした。附属を取り巻く様々な人々が、様々な形で関わってくださっていることがうれしく、「やまぐち学園」の未来は明るい!!と感じました。皆様ありがとうございます。